



心躍る新たな旅立ちへの始まり

宍喰中学校 … 卒業式(令和6年3月8日)



海陽町議会だより

3月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164
編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@kaiyo-town.jp



Vol. **72** (2024.5)

おもな内容

令和6年度当初予算	2・3P
特集記事	4・5P
議会のうごき	12・13P
町長施政方針	15P
一般質問	16・21P

子育て支援、安心・安全、 行革等の取り組みなどに

令和6年度
予算

一般会計 80億6,700万円

前年比 +8億1,500万円

令和6年度の当初予算（一般会計、4特別会計、3企業会計）は
審議の結果、すべて原案の通り可決しました。

ふるるんの家計簿

（年間80万7千円だとしたら？）

R6.3.31

住基人口 8,291人

アルバイト収入
（自主財源）
19万9千円

親の仕送り
（依存財源）
60万8千円

学 費
（民生費：18万6千円）
（教育費：8万2千円）
26万8千円

貯 金
（予備費）（諸支出金）
5千円

食 費
（議会費：7千円）
（総務費：10万9千円）
11万6千円

奨学金などの返済
（公債費）
7万2千円



家 賃
（農林水産業費：4万7千円）
（土木費：8万1千円）
12万8千円

光熱水道費
（消防費：10万8千円）
（衛生費：7万8千円）
（商工費：3万円）
（災害復旧費：2千円）
21万8千円

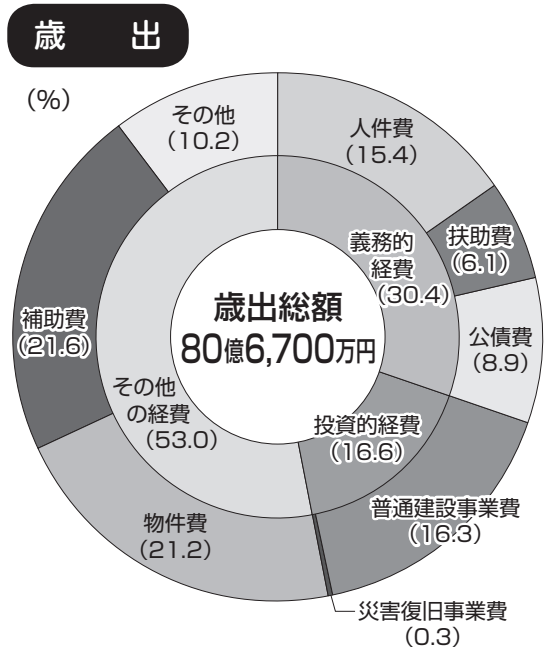
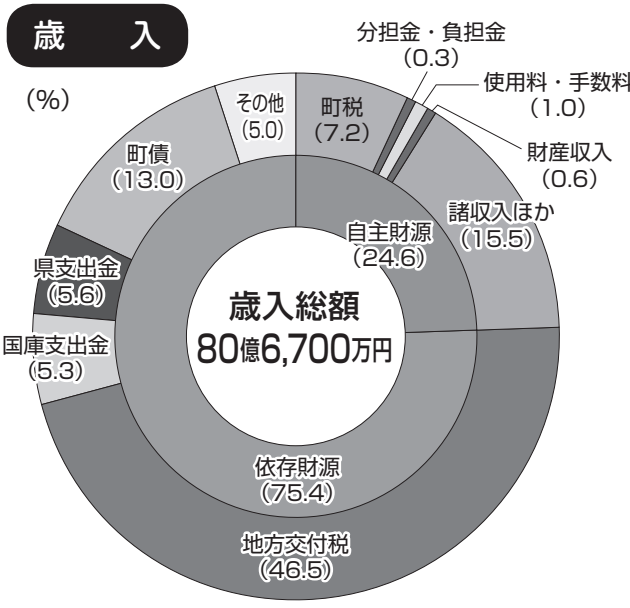
令

和6年度の
当初予算が決まりました。

一般会計当初予算の総額は、80億6700万円、前年度に比べて8億1500万円の増加となっています。

歳入では、町民の皆さまに納めていただく町税が、定額減税による個人住民税の減などにより前年度に比べて5255万円減の5億8417万円。国からの地方交付税は、833万円増の37億5249万円。町債は、防災行政無線システム改修事業、ピクニック公園大型遊具更新事業の増などにより、5億7390万円増の10億4760万円となっています。財源の不足額を補うため、財政調整基金から8億円を繰り入れています。

歳出では、グローバル教育事業に3550万円、海部郡衛生処理事務組合ごみ処理施設整備事業負担金に4827万円、防災行政無線システム改修事業、道路メンテナンス事業、ピクニック公園大型遊具更新事業、海南小学校プール改修事業などの普通建設事業費に13億1066万円、下水道事業会計繰出金2億3477万円、海南病院事業会計繰出金に2億3977万円を計上しています。また、公債費は392万円増の7億1974万円となっています。



目的別歳出

歳出総額 80億6,700万円	議会費 議会の運営など。 7,056万円	総務費 役場の管理運営・財産管理・地域振興対策など。 10億9,332万円	民生費 社会福祉や生活扶助など。 18億6,095万円	衛生費 保健衛生、ごみの清掃、し尿処理など。 7億7,743万円	農林水産業費 農業・林業・水産業の振興など。 4億6,826万円	商工費 商業・工業の振興など。 2億9,470万円
土木費 道路・橋の建設、維持管理など。 8億805万円	消防費 消防・水防・防災対策など。 10億8,276万円	教育費 教育・文化・スポーツ施設の充実など。 8億1,306万円	災害復旧費 インフラ、ライフラインなどの復旧。 2,395万円	公債費 償還（借金返済）など。 7億1,974万円	諸支出金 寄付金、基金積み立てなど。 4,421万円	予備費 急な災害復旧など。 1,002万円

(※金額はすべて千円以下を四捨五入しています。)

防災・減災事業

に向けて事業を実施！

突喰地区津波避難タワー 整備事業 2000万円

突 喰西北地区の一部は、調査において避難困難地域となっており、その解消のために、緊急津波避難場所の確保が急務となっています。そこで、今年度に、地元住民と候補地選定を行い、基本設計を実施予定です。

地区防災計画 策定事業 450万円

各 地区の防災力強化を図るため、地区防災計画策定の支援を行います。



竹ヶ島地区防災計画ワークショップ(令和6年2月10日)

道路メンテナンス事業 2億2550万円

橋 梁・トンネル点検の実施により、損傷状況の把握・データの蓄積をし、適正な維持管理や更新に取り組んでいます。また、修繕計画を策定し、対策が必要な場合、補修工事により長寿命化を図ります。

- 設計監理委託料 1億 550万円
委託料の内訳 橋梁点検 54橋
橋梁修繕詳細設計 7橋
- 修繕工事費 1億2000万円
工事費の内訳 橋梁修繕工事 4橋



修繕詳細設計予定の玉笠橋

町独自の防災

安心・安全なまちづくり

防災行政無線システム 改修事業

5億9000万円

災 害情報伝達を迅速かつ的確に行うため、再整備を行います。町民の生命・財産を守り、地域における防災及び救援活動や災害復旧に、また平常時の防災・行政連絡等にも活用し、更なる行政サービスの向上を図ります。

- 監理委託料 1000万円
- 工事費 5億8000万円



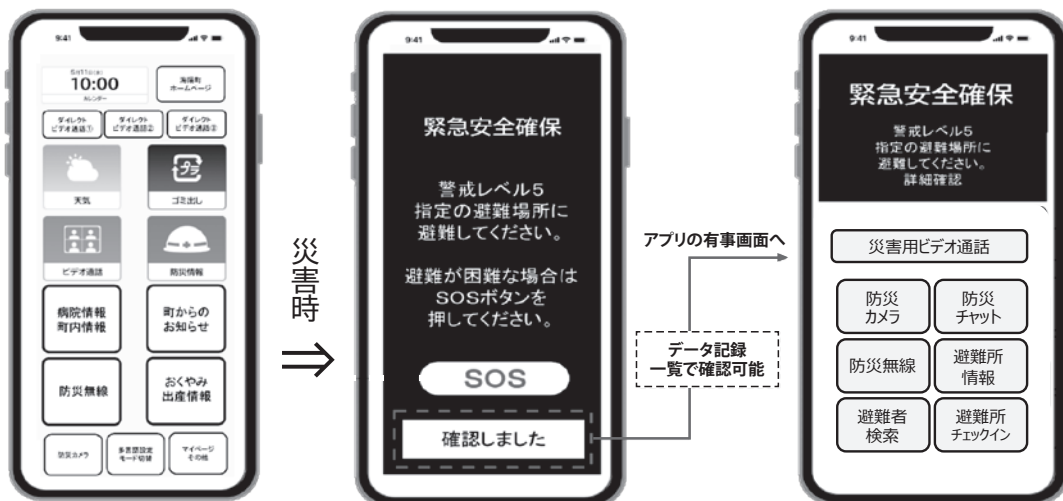
更新予定の防災行政無線放送器機

地域情報アプリ導入事業

2700万円

町 の各種情報や防災行政無線の情報をスマートフォンなどで、迅速に受け取れるように「地域情報アプリ」を導入します。

日常の情報配信はもとより、災害時には専用の画面に切り替わり、必要な災害情報をいち早く受け取れるように、開発を進めます。



地域情報アプリ(イメージ図)

緊急レベル発令中にアプリを開くと有事モード表示。発令解除でアプリ画面も通常へシフト。

海陽町議会では総務産業建設、文教厚生との2常任委員会を設置しています。本会議から付託された議案などを活発に審議・調査しました。委員長報告から要旨を抜粋し、お知らせします。

総務産業建設常任委員会

委員長 叶岡 徹

3月12日開会。

開会后、町長より、能登半島地震の発生を受けて、6月議会で防災対策予算を提案し、町をあげて防災対策を行っていくとの発言があった。その後、当委員会が所管する定例会提出議案について、順次説明を受けた。

条例関係

○ 林業従事者専用住宅の設置及び管理に関する条例

林業従事者の受入体制を整えるため、条例の制定を行う。

委員の問

指定管理の予定はあるのか。

答 条文は加えてあるが、町直営で運営していく。

委員の問

住宅用部材の未使用分の今後の活用予定は。

答 現在、明確な計画はないが、今後活用方法を検討していく。

契約関係

○ 奥谷トンネル修繕工事に係る相互関連工事変更受託契約
標準工期の確保のため、工期延伸を行う。

指定管理

○ 漁火の森宿泊施設等の指定管理
株式会社漁火に令和7年3月31日まで指定。

承認・同意関係

○ 固定資産評価審査委員会委員の選任
令和6年5月25日の任

期満了に伴い、3名の再任を行う。

予算関係

○ 令和5年度一般会計補正予算
繰越明許費

- 道路メンテナンス事業
- 橋梁修繕工事で、濁水期に工事施工するなどのため。

- 板取西川護岸改修事業
- 施行方法などの協議に時間を要したため。

歳入予算

- ふるさと納税一般寄附金 [1億6140万円]
- 12月分までの寄附金。

歳出予算

- 水産業費
- 鞆奥漁港の県営漁港改修事業負担金 [728万円]
- 土木費
- 板取西川護岸改修工事 [1000万円]

諸支出金

- 減債基金積立金 [2075万円]
- ふるさとづくり寄附基金積立金 [7443万円]

委員の問

ふるさと納税金が、町の財源に残る割合はどれくらいか。

答 寄附金の約半分が返礼品などの経費で、残りが町の財源となる。

委員の意見

空き家改修支援事業補助金や、町産材活用住宅等建築推進事業補助金については、大幅な減額が出ない範囲で予算を計上すべきである。

○ 令和6年度一般会計予算
予算総額は、80億6700万円。

歳入予算

- 町税 [5億8417万円]
- 普通交付税 [36億249万円]
- 社会資本整備総合交付金 [1億2098万円]
- 橋梁の点検・修繕。
- 財政調整基金繰入金 [8億円]
- ふるさとづくり寄附基金繰入金 [1億1760万円]

歳出予算

- 総務費
- ふるさと納税返礼品購入費

高齢者外出応援事業、グローバル教育、高校魅力化事業などへ配分。



穴喰温泉宿泊施設 (ホテルリビエラしきい)

その他主な事業は、左のページに特集しています。

入費 [6000万円]
寄附金の目標額を2億に設定。
消防費
災害時アクシジョンカード作成業務委託料 [450万円]

委員の問

地域情報アプリは、どこに委託するか。利用開始時期は。

答 プロポーザル審査で業者選定を行い、令和7年4月開始を目指す。

委員の問 船主が死亡し、所有者が不明の廃船対策

は。
答 対応できる方法を検討していく。
委員の問 穴喰の避難タワーの建設場所と事業費の見込みは。
答 令和6年度に候補地の選定を行う。事業費は3億円から5億円を想定している。
委員の意見 これからの雨期に向け、県へ母川右岸の樹木伐採の要望をしてもらいたい。



撤去予定の大型遊具

安全対策のために ピクニック公園大型遊具更新 事業(遊具撤去)

7500万円

経 年劣化で安全でなくなった大型遊具を撤去し、令和7年度以降に再整備を目指します。

- 設計監理業務 500万円
- 撤去工事費 7000万円

災害復旧をスムーズにするために

地籍調査事業

7698万円

今 年度は、奥浦地区の現地調査をします。これで沿岸部の浸水予想地域の現地調査がほぼ完了し、被災後の復旧作業が迅速かつ正確に実施することができます。



奥浦地区の調査範囲図

地域農業を継続維持するために

集積加速化支援事業

600万円

一 定規模以上の経営を行う耕作者（認定農業者・農業法人）に対して機械購入費の補助を行います。更なる農地の集積化や、経営の安定化、耕作放棄地の減少を目指します。

- 対象者は、町内で耕作面積5ヘクタール以上の認定農業者及び法人
- 今後10年以上の農業経営の継続が見込める者
- 補助率は3分の2で、上限200万円まで。

農業用機械等共同利用 促進事業

450万円

機 械・設備を共同利用する農業者及び団体について機械購入補助を行い、農業経営基盤の安定化を図ります。

- 対象者は、農業者もしくは農業法人が3者以上で構成される団体
- 団体の耕作面積は、2ヘクタール以上
- 補助率は2分の1で、上限150万円まで。（全体事業費50万円以上）

文教厚生常任委員会

委員長 富田 寛

3月11日開会。
当委員会所管の3月議
会上程議案について、説
明を受けた。

条例関係

○ 介護保険条例の改正
保険料率を改正。

委員の問 一部の段階で
保険料率を下げる理由は。

答 国の標準保険料率を
適用している。

委員の問 新たに加えら
れた9段階から13段階の
対象者は何人か。

答 計画値で104名。

委員の問 保険料の今後
の見通しは。

答 基金の一部を取り崩
しながら、3年間の運用
となる。

指定管理

○ デイ・サービスセン
ターの指定管理

海陽町社会福祉協議会
に令和7年3月31日まで
指定。

予算関係

○ 令和5年度一般会計
補正予算

歳出予算

民生費

・特養海南荘負担金

〔1524万円〕

教育費

・子どもあゆみ学校給食

費補助金〔130万円〕

・物価高騰による給食費

補助。

委員の問 給食費無償化
の考えは。

答 国の動向をみなが
ら、有益な方向性を示し
たい。

委員の問 特養負担金の
根本的な見直しが必要で
は。

答 利用者を増やす取り
組みを進めており、指定
管理者の再公募も検討し
ていく。

委員の問 特養は、組合
で運営を続けていくべき
ものなのか。

答 郡内3町で維持して
いきたい。

委員の問 特養の問題は、
老朽化した施設が原因で
あると思うが、組合で協
議しているのか。

答 民間に指定管理をし、
その意見を取り入れなが
ら進めていきたい。

○ 令和6年度一般会計
予算

歳出予算

民生費

・さつき荘の介護浴槽設
備改修工事請負費

〔892万円〕

教育費

・グローバル教育事業推
進サポート委託料

〔1500万円〕

・海南小学校プールろ過
器等改修工事請負費

〔1800万円〕

・博物館シアタールーム
動画再生システム更新

〔370万円〕

・スクールバスの車両購
入費

〔930万円〕

・貸出用マイクロバスの
車両購入費〔950万円〕

・給食配送車の車両購入
費

〔1000万円〕

委員の問 成人のひきこ
もり対策の居場所づくり
事業について、受入体制

の要望があったのか。ま
た周知の方法は。

答 要望はないが、新た
に居場所をつくることで、
ひきこもり対策の一助に
していく。周知は、広報
で行う。

委員の問 現在、2カ所
ある斎場は、今後、どう
していくのか。

答 当面は、2施設体制
を維持していきたい。

委員の問 これまでに飼
い主がいらないネコをど
くらい去勢避妊したのか。

答 手術頭数は、令和元
年から5年間で約600
匹となっている。

委員の問 飼いイヌ・飼
いネコの避妊去勢手術委
託料はどこに支払うのか。

答 委託先は、県獣医師
会である。

○ 令和6年度国民健康
保険特別会計予算

事業勘定の総額は13億
2393万円。施設勘定
の総額は8096万円。

○ 令和6年度後期高齢
者医療特別会計予算

総額2億1811万円。

委員の問 保険証は12月

2日で廃止になるのか。
答 紙の保険証は廃止さ
れる。

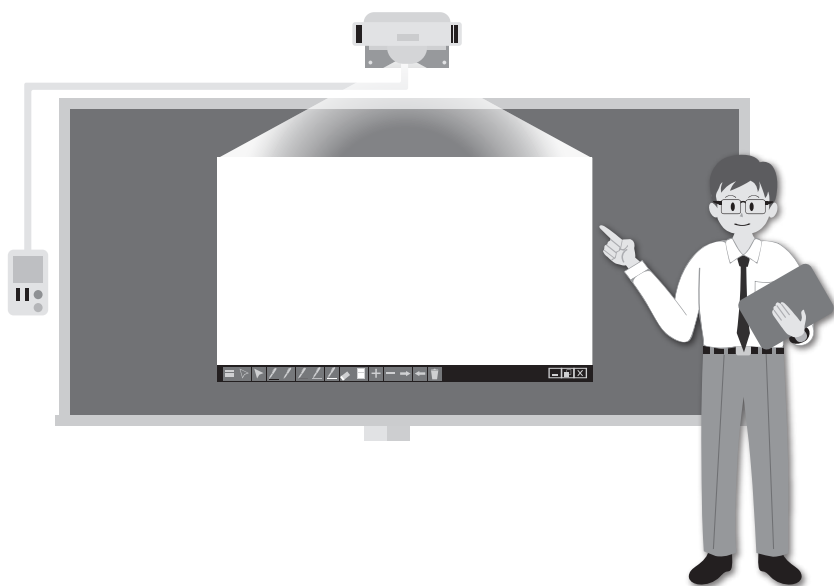
○ 令和6年度介護保険
特別会計予算

総額16億5140万円。

○ 令和6年度海南病院
事業会計予算

収益的収入及び支出は、
6億9250万円。資本
的収入及び支出は420
4万円。

その他主な事業は、
左のページに特集し
ています。



小・中学校に導入される電子黒板（イメージ図）

ワンストップでの子育て支援

こども家庭センター運営事業 928万円

海 陽町子育て世代包括支援センターあすもと海陽町子ども家庭総合支援拠点の連携を更に強化し、一体的な運営を行うため、令和6年4月に「海陽町こども家庭センター」を設置します。

こども家庭センターの業務

- 児童及び妊産婦の福祉や母子保健の相談等
- 支援を要する子ども・妊産婦等へのサポートプランの作成、連絡調整
- 児童及び妊産婦の福祉に関する把握・情報提供、必要な調査・指導等

「海陽町子育て世代
包括支援センターあすも」

「海陽町子ども家庭
総合支援拠点」

「海陽町こども家庭センターあすも」

こども家庭センター（イメージ図）

子育て世代の応援

子どもあゆみ医療費助成事業 （自己負担軽減分）

464万円

子 育て世帯の負担を軽減し、子どもたちが安心して必要な医療が受けられるように、子どもあゆみ医療費助成事業を拡充します。

0歳から18歳まで自己負担していた1医療機関 月600円が、4月1日より無料になります。

特色ある高校を目指して

海部高校魅力化事業

1556万円

県 事業と共に、学習・スポーツ支援、また、土日の食事支援体制などの生活支援を実施します。郡内で唯一の高校を応援し、地域の活性化を目指します。



オンライン英会話の授業

議案審議

令和6年度
一般会計予算Q1. 多面的機能支払
交付金〔601万円〕

富田議員

対象地域は、
またこれは地域
指定か。金額は
決まっているのか。

乃一産業振興課長

事業を実施しているのは、12
地域である。地域で保全団体を
立ち上げ、申請をしてもらって
いる。金額は、対象とする農地
面積の積み上げで交付金額を決
定する。

Q2. 高齢者外出応援事業
助成金〔1920万円〕

東議員

対象者となる要件
と現在の利用者数は。

北村長寿福祉人権課長

対象者は在宅の65歳以上の高齢者
で、運転免許がなく、町税等に滞納が
ない方である。これは毎年申請が必要
で、現在の利用者数は、673名である。

Q3. グローバル教育事業
推進サポート委託料
〔1500万円〕

長江議員

委託先は決まってい
るのか。

森崎教育次長

学校法人明泉学園と包括連携協定
を結んで進めていきたい。

Q4. 放課後子ども教室安全管理員報償費
〔1117万円〕

戸田議員

運営スタッフ数は、各地域ごとに何名
いるのか。また子どもの利用者数は。

池田地域つながり課長

各地区の放課後子ども教室にコーディネーターが1名、
学習アドバイザーが1名、また安全管理員が合計28名登
録しており、常時のスタッフ配置人数は、海南子ども館
7名、海部っ子5名、穴喰ドリーム館6名である。現在
の利用者数は、海南子ども館89名、海部っ子42名、穴喰
ドリーム館84名である。

Q5. 離島百貨店負担金
〔24万円〕

佐川議員

この事業の内容は。

戎谷観光交流課長

離島百貨店とは、全国の離島を有する町村が加盟し
ている団体である。そこで情報発信や物産販売などを
行っている。

Q6. 宍喰地区津波避難
タワー測量設計委託料
〔2000万円〕



長岡議員
事業の今後の
予定は。

黒木建設防災課長

令和6年度に候補地選定につ
いて地元協議を行い、次に用地
の承諾または契約ができれば基
本設計を行う。その後、詳細設
計を行って工事の着工となる。

Q7. 廃船処理費用補助金
〔100万円〕



西山議員

大型船もある
が、この予算で
足りるのか。

乃一産業振興課長

令和5年度の実績は11件で約
133万円である。当初予算で
は、前年度の実績も考慮して予
算を計上している。

Q8. ピクニック公園大型遊具
撤去工事請負費
〔7000万円〕



高富議員

撤去後の計画はあるのか。ま
た基礎など、活用できるところ
は経費削減のため再利用しては。

戎谷観光交流課長

現在、具体的な計画はできていないが、今後、
活用できるものについては利用していく。

Q9. 学校のあり方検討委員会運営
支援業務委託料
〔242万円〕



見吉議員

住民説明会は、どのような説
明会なのか。また検討委員会に
は学校長も出席しているのか。

森崎教育次長

学校のあり方検討委員会で協議した学校再編
の基本案をもって、住民説明会を行う。また検
討委員会の委員には、学校長も含まれている。

Q10. 小・中学校トイレ改修設計
委託料
〔小学校 370万円〕
〔中学校 300万円〕



原議員

小・中学校のトイレ洋式化率は
どれくらいか。

森崎教育次長

本町の洋式化率は、35・7%である。

Q11. 電子黒板購入費

〔小学校 330万円〕
〔中学校 220万円〕



叶岡議員

1台当たりの値段と導入メリッ
トは。また子どもたちの目に影響
はないのか。

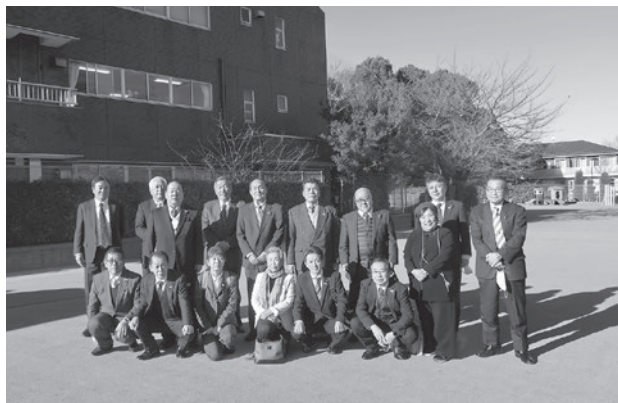
森崎教育次長

1台当たり約110万円。メリットについて
は、ワイドプロジェクト機能があり、パソコ
ンとタブレットの二つの端末を同時に投影する
ことができる。また子どもたちの目にも優しく、
使い勝手のいいものと考えている。

幼保施設再編にあたっての先進地視察研修

(令和6年1月25日)

東京都町田市にある明泉学園（フェリシア幼稚園）の取り組みについて視察を行いました。



フェリシア幼稚園にて



取り組みについての研修

四国8の字ネットワーク中央要望

(令和6年2月15日)



財務省への要望



国会議員への要望

徳島県町村議会議長会定期総会

(令和6年2月28日)



徳島グランヴィリオホテルにて

海部郡・安芸郡町村議会議長・副議長研修

(令和6年3月22日)



牟岐町海の総合文化センターにて

人権擁護委員候補者の推薦

任期満了に伴う候補者の推薦（再任）を
適任と認めました。
※任期は令和6年7月1日から3年間



石戸 正典 氏



西川 すすむ 氏

教育委員会委員の任命

※任期は令和6年5月28日から4年間



田 充宏 氏

全国町村議会議長会 会長表彰

祝

議員として在職15年以上の功労者



岡 徹 議員

議会のついで

1月1日から
3月31日まで

1月

- 2日 20歳を祝う会
- 4日 消防団出初式
- 15日 議会広報編集特別委員会
- 23日 議会広報編集特別委員会
- 25日 幼保施設再編にあたっての先進地視察研修（東京都）

2月

- 13日 議会運営委員会
- 15日 議会全員協議会
- 15日 四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟中央要望（東京都）
- 19日 第1回臨時会・議会全員協議会
- 28日 徳島県町村議会議長会定期総会及び自治功労者表彰式（徳島市）
- 29日 一部事務組合（4団体）定例議会（牟岐町）

3月

- 4日 議会運営委員会
- 11日 議会全員協議会
- 11日 第1回定例会（1日目）
文教厚生常任委員会
議会運営委員会
- 12日 総務産業建設常任委員会
- 14日 第1回定例会（2日目）
- 15日 第1回定例会（3日目）
- 18日 議会広報編集特別委員会
- 22日 海部郡・安芸郡町村議会議長・副議長研修（牟岐町）

第1回定例会

議案の審議

令和6年第1回定例会は、3月11日開会、町長より38議案が提出され、審議の結果原案どおり可決・同意し、3月15日閉会した。

条例関係

- ・林業従事者専用住宅の設置及び管理に関する条例
- ・技能労務職員の給与の種類及び基準に関する条例及び会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ・病院事業の設置等に関する条例及び水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
- ・コミュニティセンター等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- ・介護保険条例の一部を改正する条例
- ・竹ヶ島漁港管理条例の一部を改正する条例
- ・海陽町営住宅管理条例の一部を改正する条例
- ・水道給水条例の一部を改正する条例
- ・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

契約・同意・承認関係

- ・奥谷トンネル修繕工事に係る相互関連工事変更受託契約について
変更前 令和5年8月5日から令和6年3月31日まで
変更後 令和5年8月5日から令和6年7月31日まで
契約相手 牟岐町
- ・指定管理者の指定について
施設の名称 …漁火の森宿泊施設・漁火の森公園・漁火の森交流促進施設
進施設・穴喰温泉宿泊施設・穴喰観光ターミナル
- ・指定する団体 …株式会社 漁火
- ・指定の期間 …令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
- ・指定管理者の指定について
施設の名称 …デイ・サービスセンターさつき荘・わしずみ荘
指定する団体 …海陽町社会福祉協議会
- ・指定の期間 …令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
- ・辺地に係る総合整備計画の一部変更について
- ・固定資産評価審査委員会委員の選任について
- ・教育委員会委員の任命について(13ページ参照)
- ・人権擁護委員候補者の推薦について(13ページ参照)

予算関係

- ・(令和5年度)補正予算
- ・一般会計補正予算(第6号)

注釈
↑ 増額
↓ 減額

7976万円↑

3月補正予算後の歳入歳出予算

歳入	3月補正	補正後	構成比率
町税	0	6億3,671万9千円	7.6
地方譲与税	0	1億3,850万円	1.7
利子割交付金	0	30万円	0.0
配当割交付金	0	670万円	0.1
株式等譲渡所得割交付金	0	390万円	0.0
法人事業税交付金	0	1,340万円	0.2
地方消費税交付金	0	1億6,570万円	2.0
環境性能割交付金	0	390万円	0.0
地方特例交付金	0	130万円	0.0
地方交付税	0	37億4,415万8千円	44.5
交通安全対策特別交付金	0	50万円	0.0
分担金・負担金	11万2千円	5,169万3千円	0.6
使用料・手数料	0	8,086万6千円	1.0
国庫支出金	2,198万円	7億1,307万7千円	8.3
県支出金	△1,428万8千円	4億9,794万8千円	5.9
財産収入	0	6,491万6千円	0.8
寄附金	1億6,399万7千円	1億6,569万7千円	2.0
繰入金	△5,760万円	10億5,205万2千円	12.5
繰越金	△8,679万3千円	2億4,438万6千円	2.9
諸収入	264万7千円	1億3,687万5千円	1.6
町債	4,970万円	7億90万5千円	8.3
合 計	7,975万5千円	84億1,172万2千円	100.0

歳出	3月補正	補正後	構成比率
議会費	12万3千円	7,018万9千円	0.8
総務費	△1,471万円	10億5,746万2千円	12.6
民生費	2,872万6千円	21億2,400万円	25.0
衛生費	△1,777万8千円	8億5,256万3千円	10.1
農林水産業費	△1,899万5千円	5億9,553万3千円	7.1
商工費	50万6千円	4億1,611万2千円	4.9
土木費	1,326万4千円	8億5,649万5千円	10.2
消防費	0	4億6,669万円	5.5
教育費	△1,356万3千円	9億1,332万2千円	10.7
災害復旧費	0	3,895万円	0.5
公債費	△900万円	8億4,931万8千円	10.1
諸支出金	9,518万2千円	1億9,073万8千円	2.3
予備費	0	1,394万円	0.2
合 計	7,975万5千円	84億1,172万2千円	100.0

第1回臨時会

議案の審議
第1回臨時会は、2月19日開会、次の議案等が提出され、審議の結果、原案どおり可決し閉会した。

条例関係

- ・手数料徴収条例の一部を改正する条例

予算関係

- ・令和5年度一般会計補正予算(第5号)

報告関係

- ・専決処分等の報告について
- ・和解及び損害賠償の額を定めることについて

7051万円↑

国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	事業勘定	4203万円↑	施設勘定	36万円↑
後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)			340万円↑	
介護保険特別会計補正予算(第4号)			1442万円↑	
浅川公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)			188万円↓	
海部公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)			278万円↓	
穴喰公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)			320万円↓	
神野農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)			227万円↓	
川西農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)			463万円↑	
日比原農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)			170万円↓	
漁業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)			70万円↓	
鉄道経営安定基金特別会計補正予算(第1号)			1300万円↑	
水道事業会計補正予算(第4号)			12万円↑	
海南病院事業会計補正予算(第4号)			1千円↑	
(令和6年度)当初予算				
一般会計予算			80億6700万円	
国民健康保険特別会計予算			8096万円	
事業勘定	13億2393万円		2億1811万円	
後期高齢者医療特別会計予算			16億5140万円	
介護保険特別会計予算			1億376万円	
鉄道経営安定基金特別会計予算			2億1280万円	
水道事業会計予算			1億2561万円	
事業収益	2億1674万円		2億280万円	
資本的収入	4431万円		1億2561万円	
資本的支出			1億280万円	

下水道事業会計予算	事業収益・事業費用	3億1909万円	資本的収入	2億4876万円	資本的支出	2億5274万円
事業収益・事業費用						
資本的収入						
海南病院事業会計予算						
事業収益・事業費用						
資本的収入・資本的支出						
6億9250万円						
4204万円						

「時代に取り残されないように」

町長 三浦 茂貴

1月1日の能登半島地震で被災されたすべての方々に、お見舞いを申し上げます。

能登半島と地理的状况が海陽町と似ているという点で、1月11日から4日間、輪島市に情報収集・連絡担当で2名。また、1月27日から7日間、避難所運営担当で1名の職員を派遣した。社協からも1名がボランティアで珠洲市に行った。実際に見た現場の様子を教訓に、何が必要で、行政として何ができるのかを具体的に検証をし、今後の施策につなげていきたい。

住み良い町の実現

町民向けに、町の情報をデジタルで届けられる地域情報アプリを開発す

る。防災行政無線の情報などとも連動して文字で見える化するとともに、災害時に携帯電話がWi-Fiで連絡が取れたり、情報収集ができるように令和7年4月の開始を目指していきたい。

文化村から五反田に抜ける町道は途中から道幅が狭く視界も悪いいため、令和5年度より測量設計業務に着手している。令和6年度に詳細設計と用地測量・補償調査を行い、令和7年度より本工事に着手していきたい。

穴喰西町地区で津波避難困難者の解消を図るため津波避難タワーの建設を進める。令和6年度に候補地選定を行い、地域の合意が得られたの

ち、基本計画の策定を進める。

にぎわうまちの実現

ふるさと納税は、2月末時点で、約1億7600万円もの寄附を頂いている。これもひとえに、関わっていただいた全ての方々の頑張りの成果であり、本当に感謝の思いである。

リエラしにくい、遊遊NASA、道の駅穴喰温泉の3観光施設について、「海陽町観光施設のあり方検討委員会」を設置し、施設の適正な規模や運営方法に関する答申をいただく。それを受けて議会と共に方向性を出していきたい。

水産業では、令和5年度から鞆浦漁協が、サツキマスの試験養殖に取り組んでいる。安定して収入の得られる一つの方法として町もしっかりと支援していきたい。

農業面でも、担い手対策に向けた農地集積と、耕作放棄地解消施策として、新たに農業機械の補助制度を創設する。

はぐくむまちの実現

3歳から18歳までは、1医療機関1ヵ月600円の自己負担が必要となっていたが、4月より完全無償化となる。

国が全国市町村に設置を目指している「こども家庭センター」を4月1日より、海部庁舎に設置する。それにより、海部庁舎でワンストップの子育て支援が提供できるようになる。

少子化に伴う出生数の激減と保育士不足に対応するため、保育所を再編・民営化していく。また、幼稚園を3年間の認定こども園にして、グローバル教育を幼少期から取り入れる。令和7年度の開園を目指して進めていき

たい。

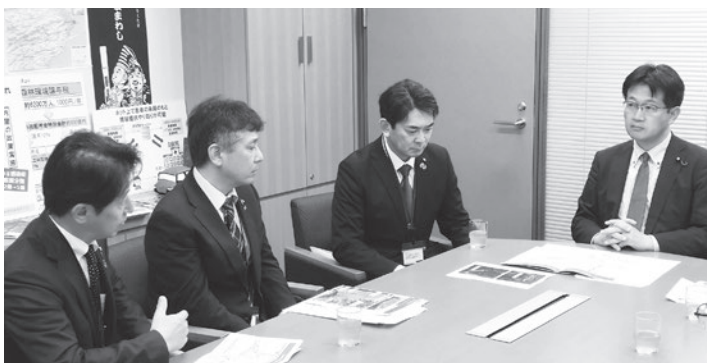
4月より小1から中3まで年1回、英検の全額補助をしていく。併せて、さまざまなグローバル教育事業を展開していく。

海部小学校がICT教育部門で文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞した。今後は、学校間で横展開をしながら、徳島県下で一番のICT教育をさらに充実していく。

海部高校の魅力化に取り組んできた結果、令和6年度も100人前後の入学人数が確保できている。地元高校が無くなれば、若い世代の流出がさらに加速し

ていくことが予測される。さらなる危機感を持って取り組んでいく。

世の中の風潮に流されることなく、さまざまな発想をし、時代に取り残されないようにチャレンジを続けていきたい。



仁木衆議院議員へ道路整備について説明する三浦町長
(令和6年2月15日 衆議院会館にて)

SDGsを意識した施策とは



長江 範裕 議員

〈行革政策課長〉きゅうりタウン構想推進事業やICT教育などに取り組んでいる

問 本町の総合戦略の中に、SDGsを原動力とした地方推進に向けて、具体的な施策を可能な限り結びつけ、SDGsを意識した施策展開を行うとあるが、具体的にどのような施策なのか。また、住民にも知らせる必要があると思うが、どのように見える化しているのか。

答 奥原行革政策課長
SDGsの目標の内、住み続けられるまちづくり目標では、きゅうりタウン構想推進事業、移住定住支援事業、事前復興計画の推進等がある。質の高い教育をみんなにという目標では、ICT教育、グローバル教育、地元高校育成事業など。すべての人に健康と福祉をという目標では、高齢者外出応援事業、特定

一般質問

生活に直結する水の確保の対策は

〈建設防災課長〉備蓄の水と4台の浄水装置などを活用していく

健診特定保健指導の実施率の向上。
海の豊かさを守ろうという目標では、竹ヶ島海域公園魅力化事業に取り組んでいる。
町民の方々へは、ホームページやSNSなどでSDGsの意識啓発を図っていきたい。

問 能登半島地震では、未だにライフラインの復旧ができていない。その中でも、生活に最も直結しているのが水の確保である。本町での、水道管の耐震化はどのくらいできているのか。

答 圓山上下水道課長
水道管の耐震化率は、30・3%である。計画的に耐震化を進めていく。

問 水の確保に向けてどのような対策を考えているのか。

答 黒木建設防災課長
水の確保については、現在約5800リットル備蓄しており、保有している4台の浄水装置や給水タンクなどを活用して供給していく。

問 現在の備蓄品で、救済物資が届くまで何日分の備えがあるのか。

答 黒木建設防災課長
食料品については、白

米やパン、ビスケットなど約1万1900食の備蓄があり、1日分は確保できている。今後も継続して備蓄を進めていく。

答 黒木建設防災課長
防災行政無線と合わせ、情報アプリの活用など通信手段の確保について検討していく。

問 防災無線の無停電装置は、三日程度しか持たず、電気が復旧しないと使用できない恐れがある。正確な情報伝達や情報収集をするためにも、対策が必要だと思いが。

答 三浦町長
今回の能登半島地震を受けて、すぐにできる防災対策は6月議会に、制度設計が必要なものについては近い議会に予算を計上したい。



災害時に使用する給水タンク



佐川 富美 議員

防災頭巾から安全性の高いヘルメットに変更を

〈教育次長〉小・中学校の生徒全員に
配備することを検討していきたい

問 小学校では、避難訓練時に防災頭巾を着用している。海南小学校は屋上、海部小学校、穴喰小



折りたたみヘルメット(イメージ図)

学校は高台に避難となっている。避難時に落下物などを避けるため、ヘルメットに変えるべきだと思う。現在、折りたたみ式ヘルメットがある。子どもたちの安全を守るためにも検討してはどうか。

答 森崎教育次長

令和6年度に穴喰小学校と海陽中学校に折りたたみ式ヘルメットを導入して検証を行い、令和7年度以降には、小・中学校の生徒全員に配備することを検討していきたい。

問 企業版ふるさと納税で整備されたeスポーツ機材は、1年以上使われていない。このゲームは、勉強の学習効果があり、能力の向上が期待できる。またシニア世代のフレイル予防の効果もある。

eスポーツが導入されるまでの期間どうするのか

〈行革政策課長〉現在、指導者がいないため
発掘に努めていきたい

今後、中高生の居場所の中にプログラムとして活用されるようだが、それまでの期間どうするのか。またその場所では、シニア世代が気軽に利用できないのでは。

答 奥原行革政策課長

eスポーツの取り組みには専門的な知識が必要で、現在、指導者がいないため発掘に努めていく。また、高齢者の意向調査等をしていきたい。

問 海陽町e場所プロジェクト事業は、どういうものなのか。

答 森崎教育次長

海陽町e場所プロジェクトとは、海陽町の中学生が企画提案をしたプロジェクトで、かわる先生方やゲストにサポートを受けながら創り上げられたものである。今後は、「一般社団法人ふらっと」がこれを受け継ぎ、eスポーツを通じて、全ての子どもが未来への希望を

バスケットコートとスケートボード場の整備を

〈観光交流課長〉候補地の一つとして、
総合的に判断していきたい

問 Bリーグでの活躍者もいる、海陽町の伝統あるバスケットボールを途絶えさせたくない。そこで、阿波海南文化村と海南病院の間にある公園に、バスケットコートや初心者用のスケートボード場を設置し、いつでも誰でも集える場所にできないか。その場所なら小学生同士でも行くことができ、遊んでいてもあらゆるところから見え、安全であると思うが。

答 戒谷観光交流課長

バスケットコートやスケートボード場の整備については高いニーズがあると思う。しかし、近隣の施設や住宅への騒音やマナーなど、慎重に検討する必要がある。公園の活用については、コスト面など整備の必要性についても検討していく必要がある。提案いただいた場所は、整備候補地の一つとして総合的に判断していきたい。

持ち、自己肯定感、探究心など、将来の自立に向けて生き抜く力を育む機会と環境を提供することを目指している。

一般

質

問

避難階段にスロープ併設を



原 ひろみ 議員

〈建設防災課長〉 今後の避難路整備には、スロープの設置も検討していきたい



急階段がある津波避難場所（浅川・弁天神社）

問 津波避難路は急階段が多く、高齢者や障がい者への配慮が足りない。階段のそばにスロープやリフト等を併設できないのか。また、新設避難タワーにもスロープを併設

すべきでは。

答 黒木建設防災課長

既存の階段のそばにスロープを設置すると距離が長くなり、避難の時間も要するデメリットがある。リフトの設置に関しては、設置場所や維持管理の問題もある。今後の避難路整備に関しては、スロープの設置も検討していきたい。

震災後対応の事前準備を早急に

〈建設防災課長〉 仮設住宅設置場所などの候補地選定はできている

問 仮設住宅設置場所や災害廃棄物集積所の土地を早急に確保すべき。海部川の堆積土砂も埋め立て用にはどうにか。

答 黒木建設防災課長

令和4年度より事前復興推進事業を実施しており、仮設住宅や災害廃棄物置場の候補地選定については必要面積が確保できている。海部川採掘土砂の利用については、有効活用を検討していきたい。

山間集落の孤立化対策を

〈建設防災課長〉 孤立した場合の対応マニュアル作成等に努めていきたい

問 山腹崩壊などで道路が寸断され、孤立化予想の地域が18カ所ある。地域ごとに全住民参加の避難所運営訓練を実施するべき。また各集会所にも備蓄品を備え、町の不足分を準備すべきでは。

答 黒木建設防災課長

今後は、孤立の可能性がある地域を対象とした小規模な避難所運営訓練や、孤立した場合の対応マニュアルの作成、備蓄についての知識やリーダー育成に努めていきたい。

要援護者の避難対応策は

〈長寿福祉人権課長〉 社会福祉協議会とも連携し備えていきたい

問 自閉症、ひきこもり、精神障がい、認知症等の住民は、災害時、パニック状態になり、大きな避難所に入れないことがありうるが、その対応策は。災害時、福祉避難所も職員の確保が難しいと思うが、障がい者の受け入れは可能なのか。

答 北村長寿福祉人権課長

団体生活になじめない方に対しては、間仕切りや区画分けを行うなど居場所づくりに配慮する。また、高齢者や障がいのある方には、福祉避難所への直接避難も可能となっている。福祉避難所の人員確保については、平常時から各関係機関との災害協定などを進めるほか、先の災害などを参考にしながら、社会福祉協議会とも連携し、備えていきたい。

出会いの場を企画立案できないか



富田 寛 議員

〈子どもあゆみ保健課長〉

婚活イベント事業者と連携して、支援を行っていく

問 近年、若者たちに向けてのサークル活動が少なくなってきた。そこで地域間交流、町のにぎわい、町の衰退防止のための一環として、役場に担当者を配置して独身者向けの出会いの場を年に数回計画できないか。

答 大崎子どもあゆみ保健課長 徳島県が運営する結婚支援センター「マリッサとくしま」などの婚活イベント事業者と連携して、出会いの場の提供などをするこにより、結婚を希望する方への支援を積極的に行っていきたい。

子育て世帯への支援施策については

〈子どもあゆみ保健課長〉

少子化対策審議委員会などの意見を踏まえ、子育て施策の充実を図っていく



「あのね」のイベントに参加している乳幼児

問 三浦町政発足時、人口約9500人前後であったが、現在、8379人である。また、町の出生目標人数は年間50人であるが、過去6年間の出生数は、合計182人であり、まだ一度も目標値に達成していない。

令和5年度の出生数は21人で、目標人数から58%の減少。経済的事情などで第二子以降の出生をためらうとのアンケート結果も出ている。本町の過去9年間の出生数は284人、内訳として、第

一子109人、第二子105人、第三子47人、第四子以降23人になっている。他方、子どもあゆみ基金残高は、平成29年度8億3231万円、令和4年度10億5878万円、差引2億2647万円の増加となり、基金だけ積み増しという結果である。

そこで提案であるが、保育料を10カ月児から2歳児までの無償化。3歳児までの紙おむつの補助一人につき、月7000円分の現物支給をしようか。

答 大崎子どもあゆみ保健課長 保育料については、現在、第三子以降は、無償となっている。議員提案の課税世帯の0歳から2歳児の保育料無償化を実施すれば、町の負担が大きなものとなる。また、保育所を利用しない世帯への経済的支援がないなどの課題もある。紙おむつ補助については、使用状況に個人差があり、不公平感が出る可能性もある。今後とも、子ども子育て会議や少子化対策審

議委員会の意見を踏まえながら、子育て施策の充実を図っていきたい。

答 三浦町長 これまでの第三子以降の子育て施策で、今の数字があると思う。本町では、定住できる子育て環境の充実を目指して、グローバル教育やICT教育、高校の魅力化事業の施策を展開するなど、目先だけでなく、将来結果が残るよう取り組んでいる。

一般質問

経営改革と今後の取り組みは



〈海南病院事務長〉

海南病院経営強化プランに基づき、取り組んでいく

木内 正和 議員

推進することを目的とした、令和6年度から4年間の海南病院経営強化プランに基づき、職員が一つになって取り組んでいく。

問 海南病院の決算は、令和4年度繰入金1億8700万円、純損失4320万円、累積赤字が令和2年6億2000万円、令和3年6億5000万円、令和4年6億9300万円と13年連続赤字と続いている。海南病院の経営改革と、今後の取り組みはどうしていくのか。

答 川野海南病院事務長 経営改善をする上で、特に医師を初めとする人材確保が最重要課題であると考えている。今後の方向性については、海南病院改革検討委員会の検証と、総務省が示した公立病院経営強化ガイドラインの趣旨を踏まえ、地域での役割、医師・看護師等の確保、経営の効率化等に取り組む。また、病院経営強化を計画的に

問 新たな医師が4月から海南病院に勤務するが、今後の診療体制は。

答 川野海南病院事務長 新たな医師は、総合診療科の医師が2名、整形外科医1名、診療看護師(NP)1名である。診療科としては、内科、整形外科、外科、脳神経外科、総合診療科の5科。在宅医療では、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ。また、神野地区への巡回診療も行う。

問 MRIの導入は考えているのか。

答 川野海南病院事務長 MRIは高額な機械であり、保守料も毎年必要で、専用の部屋をつくらなければならない。また、

問 一般会計からの繰入金を、これ以上、増やすわけにはいかない。町長としての決意は。

答 三浦町長 今回の人員体制の充実で、人件費などの経費の増加も見込まれ、すぐには、改善した数字が出るのは難しいかもしれない。今後は、必ず医療収益の増加につながるよう、職員が経営という観点を持つて日々の運営に努めるよう指示もしている。また、新体制により、町民が最後まで住み慣れた海陽町で生活し続けられると期待している。今後

患者の需要数も検討しなければならぬので、現時点では考えていない。



新設された総合診療科の医師

左より谷口宜子ナースプラクティショナー(診療看護師)・國永直樹医師・吉永孝優医師

一般

質

問

高齢化対策についての考えは



叶岡 徹議員

〈長寿福祉人権課長〉 シルバー人材センターなど、
高齢者が活躍する場を設けている

問 今、高齢化対策は重要な時である。これから団塊の世代も高齢化に入っていく、施策を講じていかなければならない。ふれあいサロン等を実施しているが、今後の生きがいづくりはどうしていくのか。費用面も補助金が少ないように思うが、増額しないのか。また、デイ・サービスの統合問題では、現状を1年間延長し、来年度に統合することだが、今後、高齢者の増加が見込まれるのに、それで良いのか。先の事も考ええるべきだと思いが、どうか。

答 北村長寿福祉人権課長 元気な高齢者に活躍していたら場としてシルバー人材センターがある。また、地域のあらゆる活動や、町の附属機関の委員としても参加していたらいい。



統合予定の「わしずみ荘」

サロン事業については、当初予算に計上し、社協事業として実施している。デイ・サービスの在り方については、高齢者は団塊世代で増えてはいるが、そこをピークに減少していくことと、介護人材不足の問題がある。そのため統合により、持続可能な通所介護サービス

を目指していく。

答 三浦町長 デイ・サービスの統合の問題は数年前からあり、町の将来を考えると、町の将来を考えると、で苦渋の選択をしなければならぬ時期に来ている。高齢者の生きがいづくりについては内部で検討していく。

再婚活事業に取り組んでは

〈子どもあゆみ保健課長〉
誰でもが参加しやすい形で検討していきたい

問 最近、結婚を解消している方が非常に多く見られる。なかなか難しい問題と思うが、新しい取り組みとして、婚活事業に再婚活事業を取り入れてはどうか。

答 大崎子どもあゆみ保健課長 再婚活については、「マリッサとくしま」において、イベントが企画されるなど、さまざまな出会いの場を提供している。今後、そういった事業者と相談しながら、誰でもが参加しやすい形で検討していきたい。

危険なサル被害への取り組みは

〈産業振興課長〉
大型捕獲檻の設置と広報誌で注意喚起を図っていく

問 未だにサルの被害が多く発生している。また、非常に危険なサルもいる。早急に住民の不安を取り除いてほしい。今後、どのように取り組むのか。

答 乃一産業振興課長 通報があった場合、職員が空気銃で追い払いを行ったり、また、町内2カ所に大型捕獲檻を設置している。今後、浅川東の休憩所付近に3基目の大型捕獲檻を設置する予定。再度、広報誌にサルの対処方法等を掲載し、注意喚起を図っていく。

一般質問

問

まつうら
裕浦 しゅうへい
収平さん

穴喰浦字穴喰 満97歳
(大正15.11.19生)



妻 保子さん(満95歳)とともに(令和6年4月10日)

・元気の秘訣は？

早朝から週4日、グラウンドゴルフ
をしている。

好き嫌いはなく、何でも食べる。
特に刺身が好き。

・日常生活は？

中国ドラマが好きで、テレビを
よく見る。

野球は、夫婦で阪神ファン。

庭木の^{せんてい}剪定など、家の雑用は
何でもする。

・人生の思い出は？

貨物船に40年乗っていた。

北海道から沖縄まで夫婦で旅をした。



○ ガンセキラン

常緑樹林内の地上に生える地性ラン。
日本国内では本州から以南に分布。
初夏に開花。絶滅危惧種。

春4月、若葉がもえ、色とりどりの花が咲き、新たな生活への彩りを添える季節。そこで、本町の令和6年度の入学人数はと調べてみた。小学校は、穴喰9名、海部9名、海南16名の計34名。中学校は、穴喰18名、海陽30名の計48名である。

この急激に進む少子化と、本町の高齢化率47・49%の現実、地震・津波等の防災対策とともに、大きな課題としてのしかかり、その解決への道は厳しい。

しかし、住民の郷土愛は深い。若者やシニア世代が前向きに参画すれば、海陽町の未来へとつながるものと信じている。

住民の皆さまの町政へのご意見をお聞かせください。

(戸田)